

令和３年度 稲沢市地域自立支援協議会 第２回本会議 議事要旨

[日 時] 令和４年３月２２日（火）午後２時～午後３時４０分

[場 所] 稲沢市役所 東庁舎 ２階 会議室 ８

[出席者] 本会議委員 ７人、事務局 ５人

[欠席者] 本会議委員 ２人

[議 事]

１ 議題

(１) 運営会議の実施状況について

資料１及び別紙１、２、３により、事務局から説明

委員 Ａ ３月に新しく開設した日中支援型共同生活援助事業所は、１８人の定員が既に満床なのか。

事務局 満床ではないが、すでに利用者がいる。３月１８日時点で入所済は２人、いずれも市内の方で強度行動障害がある方。また、ショートステイの利用が１人あり、緊急で依頼があった市外の方。

委員 Ｂ 日中支援型共同生活援助は、収益率が高い入所施設という批判があり、評価する仕組みになったが、評価してもはねられる仕組みではない。一緒に活動していく仲間として、人が変わっても質が下がらないように繋がり、人の目がある中で運営していくことに焦点を絞って評価していくのが良い。

個別支援会議からは、暮らしの課題が多いように感じる。グループホームは増やさないと追いつかないが、グループホームでは難しい人も出てくる。一人で暮らしたいとか、誰かと暮らしたいという人が豊かに暮らしていくことが課題になる。ニーズに対して協議会が活動すること、そのために運営会議が重要であると思う。

会 長 個別支援会議の資料の文字が小さいので、フォントを大きくしてほしい。

副会長 毎回、課題を報告してもらうが、その先についてどうなったか教えてほしい。

(２) 分野別部会の実施状況について

資料２により、各部会長から説明

(地域生活支援部会)

副会長 医療的ケア児等コーディネーターは何人いるか。

部会長 今７人いる。

副会長 コーディネーター会議は７人で実施しているのか。

部会長 コーディネーター会議は、その７人のほか、正副部会長と事務局も参加している。

委員 Ｂ 医療的ケアについてのシンポジウムは反響が大きかった。関係機関に法律にある責務について真剣に受け止めてほしくて開催した。尾張西部圏域の地域は既に取り組んでいるため、これからである。

災害対応の件は、避難計画がまだ地域で立てられていないがコロナ対応をとって

も想定外のことが起きる。100点でなくても地域の方に安心を届けられることを考えて整えていく。そんなポイントでどうかと思う。

地域生活支援拠点等事業は、今年度、県で手引きを作成し、評価基準も含まれているので、それを使ってもらえれば良い。緊急支援のためのコーディネーターをどう作るかが重要ではないか。そこも考えていけると良い。

会 長 市民センター地区で防災や避難所について取り組んでいるが、先日、ニュースで簡易パイプを使って個人スペースを作る話題があり障害のある方にも良いと思った。

(就労支援部会)

事務局 就労支援部会でのオンライン学習会は、9事業者（市内4、市外5）が参加した。

副会長 発達障害の親の会に関わっている。会は設立から10年以上たち、保護者が就労について知りたいということで今年度3回ほど集まって話し合った。市内市外の事業所を調べ、それぞれの内容の違いも分かり、良い機会になった。今後も続けていくが、事業所の内容を知らない人が多かった。体験等もできるのでまた報告をしたい。

部会長 参加者は、特別支援学校の方か。

副会長 特別支援学校の方もあるし、地域の学校の支援級、普通級の方もあり様々である。

会 長 稲沢市障害者福祉団体連合会で開催したチャレンジフェスタでは、企業の参加がなかったのは残念。参加者のアンケートでは就労している方の話が聞けて良かったという意見があった。企業も変われると良い。

委員 B 障害がある方が働けていないことについて、働く場所がないのか、雇用する企業が少ないのか、働く力が育っていないのか、福祉サービスが就職させていないのか、要因はどこにあると思うか。

部会長 全てが要因にあると感じる。昔に比べると働く場所や支援は進んだと思うが、自立に繋がる働き方をしているか、支援しているか。特性により1時間しか働けない方も、調整できれば企業で働けると思う。

委員 B 良い出会いをした人は長く働けている。部会の中で、雇用が進まない理由がどこにあるかによって、本人なのか、企業なのか、あゆみ方が変わる。

会 長 企業で話を伺うと「仕事ができないから」と言われることがあるが、実際には活き活きと働いている方がある。

委員 C 産学連携についての意見が報告の中にあつたが、学校としてできることがあれば単発でなく継続的にでも関わっていける。

委員 B 強度行動障害の研修を受けると、行動援護もできるようになるが、支援内容は違い、街の中で、1対1で支援することは、より専門性が高い。市内に行動援護の事業所がないと聞いた。課題としていくべきだと思う。

(3) 事業所連絡会の実施状況について

資料3により、事務局より説明（質疑等なし）

2 その他

委員を変更する場合のお願いと全体会の日程について、事務局から説明（質疑なし）